

経営協議会の意見等の大学運営等への活用状況

2019 年度に活用した次の事例を、ホームページにおいて既に公開している事例に追加する。

指摘事項等	活用状況
・施設整備に関連して、大学各棟のサインが退色しているため、再塗装した方がよいのではないか。 (2019 年 5 月 28 日)	・学外者が多く来学する、オープンキャンパス（2019 年 8 月）開催に間に合うよう、各棟の外壁サインの再塗装を行った。
・補正予算が成立し、S 評価となった事業が全て採択される事態も想定し、採択後すぐに事業を開始できるよう事前に準備を行う必要がある。 (2019 年 11 月 25 日)	・S 評価となった 4 事業のうち、3 事業が採択され、設計・積算を計画的に進めている。

(参考) これまでに公開している活用事例

経営協議会の審議結果等については、経営協議会終了後、直近の戦略企画会議、代議員会等で学長から報告することとしている。その際、審議結果に併せて、経営協議会の学外委員の発言等も紹介・報告し、大学運営等に反映するなど活用している。

2013 年度～2018 年度の経営協議会の審議結果及び意見等を、大学運営等に活用した主な事例を次に示す。

指摘事項等	活用状況
<ul style="list-style-type: none"> SDGs（持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals））は企業で多く取り組まれている。大学においても取り組み、世の中に貢献しているということを上手に広報することが重要となる。 <p>（2019年3月19日）</p>	<p>大西プラン 2019 では SDGs への取組を重点実施項目として掲げている他、国際戦略についても SDGs 達成へ向けた観点を盛り込み作成している。</p> <p>学内へも国連アカデミック・インパクト（UN Academic Impact:UNAI）及び SDGs のロゴ・アイコンを出版物や展示物に可能な限り掲載する等 SDGs を意識した教育研究活動を推進するよう積極的な周知活動を行っている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 専任教員、兼務教員の学生割当て数等の負担のあり方について、大学全体での基本的なルールがあった方がよいのではないか。 <p>（2019年3月19日）</p>	<p>教員の兼務について、細則として制定し、兼務教員の研究指導等の職務や系の会議への関わり方等明文化した。</p>
<p>平成 28 事業年度決算について</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務費に対する研究経費及び教育経費の割合が減少している要因については、主に減価償却費の減少等の影響であり、資料を公表する際には、実質の研究や教育に係る経費が大幅に減少しているわけではない旨を、一般の人から見て、より分かりやすく記載したほうがよい。 <p>（平成 29 年 6 月 27 日）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 財務レポートにおいて、各経費の内訳がわかる資料を追加し、減価償却費などの割合がわかるようにした。
<ul style="list-style-type: none"> 開学 40 周年記念事業募金では、同窓生からの寄附が少ない印象であるため、今後の修学支援等の充実を図るためにも同窓生との連携強化は重要である。 <p>（平成 30 年 1 月 30 日）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 開学 40 周年記念事業期間終了後の基金の管理・運営体制の強化を図るため、「基金運営委員会（委員長：学長）」及び「基金室」を設置（H30.1）した。 さらには教員を室長とする「卒業生連携室」を設置（H30.2）し同窓生（卒業生）

	との連携強化を図り、「基金室」と連動して今後の修学支援等の充実・強化を図ることとした。
<p>・共同研究において、企業と大学では経費の算定方法の考え方に一部相違があるため、間接経費（現：産学連携経費）の定義や内訳を明示し、より明確に説明できるとよいのではないかと。</p> <p>（平成 29 年 3 月 17 日）</p>	<p>・現行規程の改正を行い、明示されていなかった間接経費（現：産学連携経費）の内訳を明示した。</p> <p>これにより、産業界に対して、より透明性の高い説明ができると期待している。</p>
<p>・第 3 期中期目標・中期計画（素案）について、チャレンジするような内容での中期目標の記載をするべきではないかと。</p> <p>（平成 27 年 5 月 28 日）</p>	<p>・機能強化に向けた特色ある活動や高い目標が積極的に掲げられることを促し、ひいては各法人の質的向上を促すため、「戦略性が高く、意欲的」とであると各法人が考える中期目標・中期計画として、4 件の目標を申請している。</p>
<p>・スーパーグローバル創成支援プログラムの申請計画に関し、民間企業での採用条件として、730 点以上としている事例などからも、コースの修了要件としている TOEIC スコアが 650 点では少し低いのではないかと。</p> <p>（平成 26 年 5 月 26 日）</p>	<p>・「スーパーグローバル大学創成支援」事業に係る申請計画において、TOEIC スコアを 730 点に引き上げて申請を行っている。</p>
<p>・臨時特例（平均△7.8%）による給与支給減額について、社会情勢を見極め判断願いたい。（平成 25 年 5 月 31 日）</p>	<p>社会情勢、近隣大学の動向等を踏まえた対応を行うこととし、職員連絡会等において学内教職員に周知した。</p>
<p>・研究大学強化促進事業により研究力を強化させ、5 年後の中間評価に向けては、研究に係る各種ベンチマークの数値を伸ばすことが重要になってくると思うが、強みはさらに強く、弱みは強くなるよう伸ばす必要がある。（平成 25 年 11 月 28 日）</p>	<p>研究力強化実現のため、研究推進アドミニストレーションセンターを設置し、体制を整備するとともに、役員会のもとに設置した研究戦略企画会議により、研究力強化に関する方針等について、審議している。</p>